

MAX

取扱説明書

プロ用

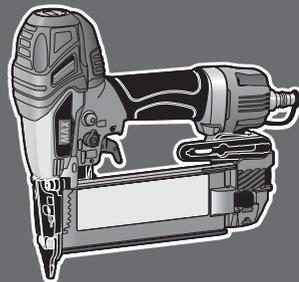
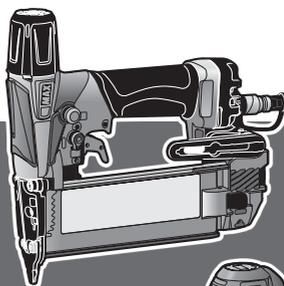
このたびは、マックス釘打機スーパーネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の手扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

警告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



マックス釘打機スーパーネイラ

HA-55SF2(D)

マックス釘打機

TA-255SF2

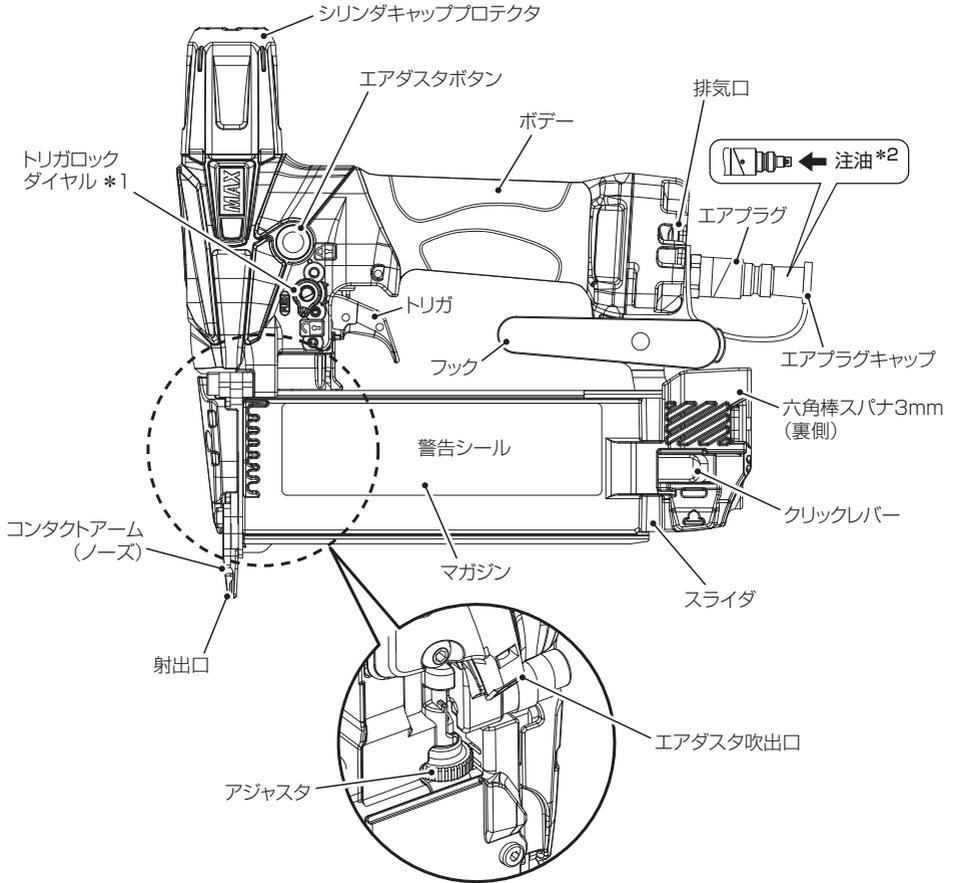
TA-255SF2(D)

目 次

各部の名称	3
安全作業のために	4~13
仕様及び付属品	14
使用方法	15~21
コンタクトアームの動作確認	15
ネイルの装填方法	15,16
打ち方	17,18
フックの方向の変え方	18
シリンダキャッププロテクタ交換方法	19,20
コンタクトトップの取付方法	21,22
エアダスタの使用法	23,24
配管についての注意	25,26
エアホースの接続	27
アジャスタの調整と打込状態の確認	28
ネイルづまりの直し方	29
保守・点検	30
保証、アフターサービスについて	31
保証について	31
アフターサービスについて	31

各部の名称

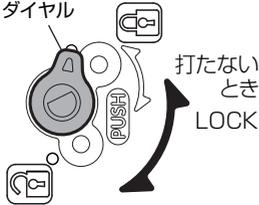
※以降、イラストはHA-55SF2(D)で説明しています。



*1 トリガロックダイヤル

押し回すことでロックとアンロックを切り替えます。

トリガロック
ダイヤル



打つとき
UNLOCK

*2 注油



注意

指定オイルを注油する



マックス指定
オイル
(別売品)

付属品



保護メガネ



キャリングケース



取扱説明書



ジェットオイル
(油入)

※中ぶたを外して
使用してください。

※出荷時キャリングケース内に収納されています。

▲ 安全作業のために

本機は、木材およびそれに類した材料を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**▲ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について



禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。
この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

作業前

▲ 警告

使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明するおそれがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

HA-55SF2 (D) 使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。本機使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必ず必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと、異常燃焼をおこし、爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。

TA-255SF2・TA-255SF2 (D) 使用の際は、エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

本機を絶対に改造・分解しない。

本機を改造・分解すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを厳守する。

- ・トリガをロック（引けないよう固定）する。
- ・射出口に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
- ・射出口やエアダスタの吹き出し口を絶対に人体に向けない。

固定ラバーがしっかり装着されている事を確認する。〈TA-255SF2・TA-255SF2 (D)〉

固定ラバーがはがれているとシリンダキャッププロテクタを持った時に本体が落下する恐れがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⚠ 安全作業のために

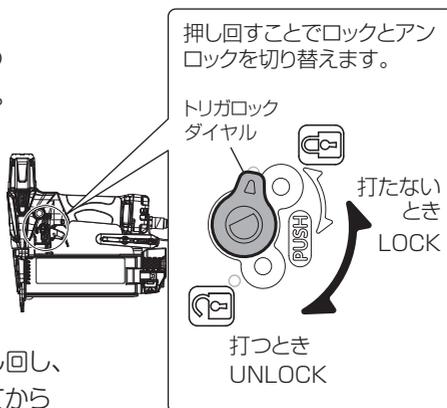
⚠ 警告

安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。

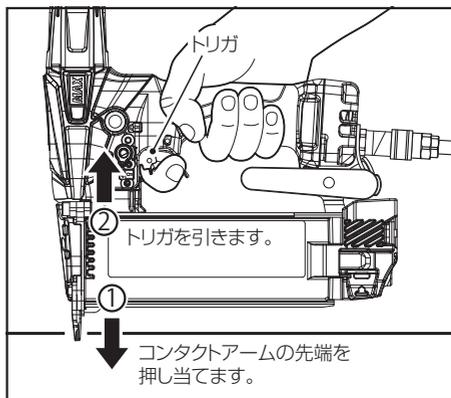


作業を行う際はトリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてから作業を開始してください。

ネイルを打っているとき以外はトリガロックを押し回し、LOCK（ロック）の位置にセットしエアホースをはずしてください。

●メカニカル安全装置（シーケンシャルトリガ）

これはコンタクトアーム、そしてトリガの順に作動させないとネイルを発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけのときや、コンタクトアームを打込対象物に当てただけのとき、また、トリガ、コンタクトアームの順に作動させたときはネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当ててからトリガを引いたときのみネイルは発射されます。

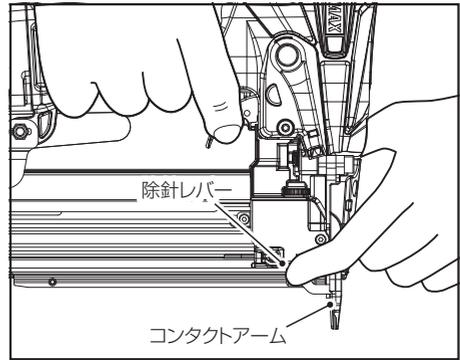


⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

※本機は空打防止装置が装備されていますのでネイルを装填しない状態ではコンタクトアームは動きません。安全装置の確認をする場合やコンタクトアームの動きを確認する場合は、除針レバーを押し、空打防止装置を解除しながら行ってください。

※ネイルを装填しない状態で確認してください。



使用前に安全装置が完全に作動するか必ず確認する。

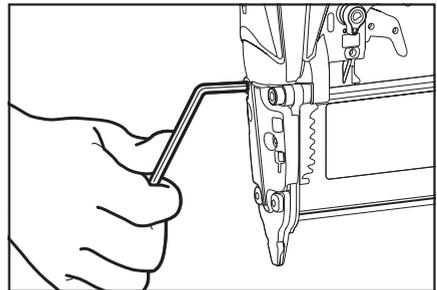
点検により異常が発見された場合、ただちに使用を中止してください。

修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

1. エアホース接続前の点検

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

- ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
- シリンダキャップの止め付けねじはシリンダキャッププロテクタを取りはずして確認してください。取りはずし方はP19 シリンダキャッププロテクタ交換方法を参照してください。〈TA-255SF2・TA-255SF2 (D)のみ〉
- 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
- トリガをロック(引けないよう固定)できるか。

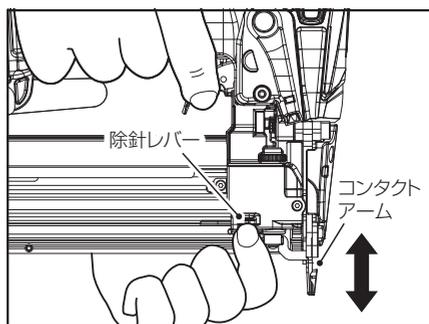


⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

- コンタクトアームをつまんで上下に動かし、スムーズに動くか。
- 除針レバーを押しながら、トリガを引き、コンタクトアームが上下に動くか。動かない場合は、絶対に使用しないでください。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス㈱へ点検・修理に出してください。



2. エアホース接続時の点検

エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

- エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
- エアホースを接続しただけでエアダスタが作動しないか。
- エアもれや異常音がしないか。

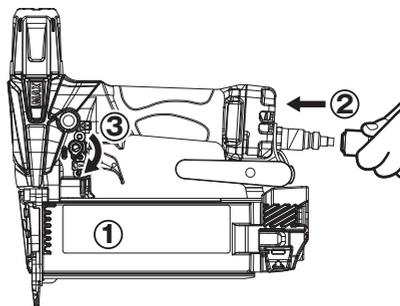
エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス㈱に点検・修理に出してください。

3. 安全装置の点検

ネイルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

※本機は空打防止装置が装備されていますので、ネイルを装填しない状態ではコンタクトアームは固定され動きません。

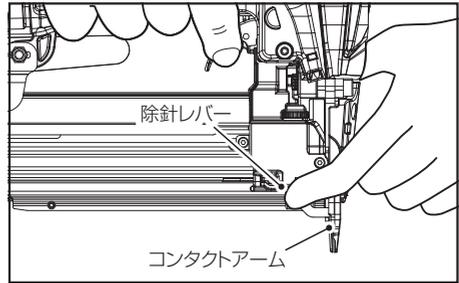
- ① 作業に入る前に本機にネイルが装填されていないことを確認してください。
- ② 本機にエアホースを接続します。
- ③ トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK (アンロック) の位置にセットしてください。



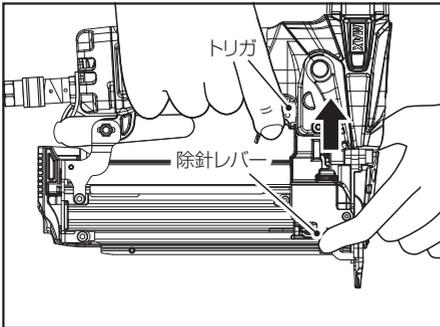
⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

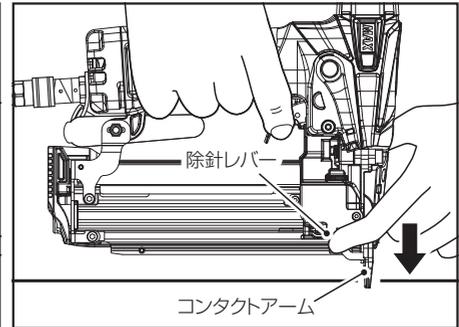
- ④ マガジン裏側の除針レバーを押し、空打ち防止装置を解除します。
※ 除針レバーを押し、空打ち防止装置を解除した状態で⑤、⑥を行ってください。



- ⑤ まず、トリガだけ引いてください。



- ⑥ 次にトリガから指を離し、コンタクトアームを材料に押しあててください。



このとき、本機が作動する場合は安全装置が異常です。

そのまま使うと、事故や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

安全装置の確認の際にはコンタクトアームの先端付近には絶対に手を近づけない。

万が一安全装置に異常があった場合、思わぬ怪我をする場合があります、非常に危険です。

⚠ 安全作業のために

作業中

⚠ 警告

指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(使用ネイルは14ページ参照)

作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

使用空気圧を必ず守る。

本機の使用圧力範囲はHA-55SF2 (D) が1.0~2.3MPa (約10~23kgf/cm²)、TA-255SF2・TA-255SF2 (D) が0.4~0.8MPa (約4~8kgf/cm²) です。対象物によりその範囲内で調節し、使用してください。HA-55SF2 (D) は2.3MPa (約23kgf/cm²)、TA-255SF2・TA-255SF2 (D) が0.8MPa (約8kgf/cm²) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

射出口やエアダスタの吹き出し口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせのネイル打ちは絶対にしないでください。



射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

機体の反発に注意する。

硬い所に打った場合、機体のはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

移動するとき、作業を中断するとき、また、フック使用時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。コンタクトトップ着脱のときは、ネイルも取り除く。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には、思いがけない事故につながります。また、作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すとき、誤ってネイルを発射するおそれがあり、危険です。

落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動する事を確認してから作業を再開する（6ページ参照）。

異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

次のときは、本機を使用しない。 事故の原因になります。

- ・ 疲れているとき、身体が不調なとき。
- ・ 酒類や薬物を飲んで正常な動作ができないとき。

用途にあった作業に使用する。

本機は木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。指定された用途以外には使用しないでください。

子供を近づけない。

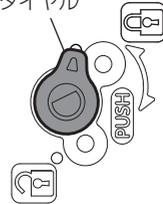
作業員以外、釘打機やエアホースに触れさせないでください。作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

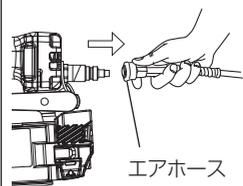
移動するとき
作業を中断するとき

⚠ トリガをロックする

トリガロック
ダイヤル



⚠ エアホースを外す



⚠ 安全作業のために

作業後

⚠ 警告

作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

TA-255SF2 (D) の場合は、ダスタボタンを押しながらエアホースをはずさないでください。本機内部にエアが残る可能性があります。

作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜きとってください。

本機は注意深く手入れをする。

安全に能率よく作業していただくために、本機は常に手入れをし、清潔に保ってください (P29、P30ページ参照)。

使用しない場合はきちんと保管する。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかるところに保管してください。

⚠ 安全作業のために

屋外作業について

⚠ 警告

足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。



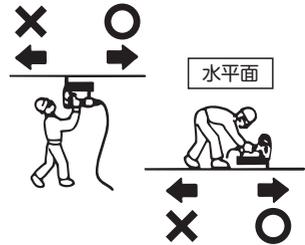
直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。下から上に打つと足場などに頭をぶつけるなどの危険があります。
※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。



傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。



仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機 スーパーネイル		マックス釘打機	
商 品 記 号	HA-55SF2 (D)	TA-255SF2	TA-255SF2 (D)	
バルブ機構	メインバルブ方式		ヘッドバルブ方式	
ネイル送り機構	プッシュバネ送り方式			
マガジン形式	横入れ方式			
寸 法	(H)232 × (W)63 × (L)261 mm	(H)239 × (W)66 × (L)253 mm	(H)239 × (W)66 × (L)268 mm	
質 量	1.2kg	1.2kg	1.3kg	
ネイル装填数	100本			
使用空気圧範囲	1.0~2.3MPa (約10~23kgf/cm ²)	0.4~0.8MPa (約4~8kgf/cm ²)		
使用エアコンプレッサ	マックス スーパーエア・コンプレッサシリーズ		マックス エア・コンプレッサ	
使用エアホース	マックススーパーエア・ホースシリーズ 内径4mm以上、長さ30m以内		マックス エアホース 内径7mm以上、長さ30m以内	
使用オイル	タービン油2種ISO VG32 (JIS K 2213)			
安全装置	メカニカル方式、トリガロック装置			
装 備 品	六角棒スパナ (3mm)、コンタクトトップ、シリンダキャッププロテクタ			
付 属 品	キャリングケース、ジェットオイル (油入)、保護メガネ			

〈使用ネイルサイズ〉

(単位:mm)

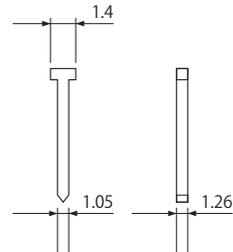
足長 (mm)	スーパーフィニッシュネイル		フィニッシュネイル	
	メッキ	ステンレス	メッキ	ステンレス
15	SF15M0	SF15M0-S	F15M0	F15M0-S
20	SF20M0	SF20M0-S	F20M0	F20M0-S
25	SF25M0	SF25M0-S	F25M0	F25M0-S
30	SF30M0		F30M0	F30M0-S
35	SF35M0	SF35M0-S	F35M0	F35M0-S
40	SF40M0	SF40M0-S	F40M0	F40M0-S
45	SF45M0	SF45M0-S	F45M0	F45M0-S
50	SF50M0	SF50M0-S	F50M0	F50M0-S
55			F55M0	F55M0-S

※ラインナップは予告なしに変更する場合があります。

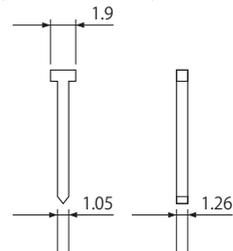
※カラーについてはサイズにより御用意している種類が異なります。

お買い求めの販売店様に御確認ください。

〈スーパーフィニッシュネイル〉



〈フィニッシュネイル〉



警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。

使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

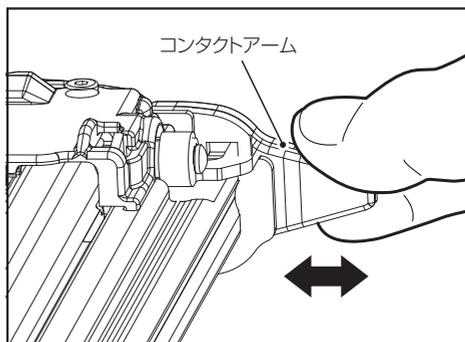
コンタクトアームの動作確認

警告

- コンタクトアームの動作確認をするときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずし、ネイルを取りのぞく。

コンタクトアームが正常に作動するか確認してください。正常に作動しない場合は使用せず、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)に点検・修理に出してください。

- ①トリガをロックし、エアホースをはずし、ネイルを取りのぞきます。
- ②コンタクトアームをつまんで上下に動かし、スムーズに動けば正常です。



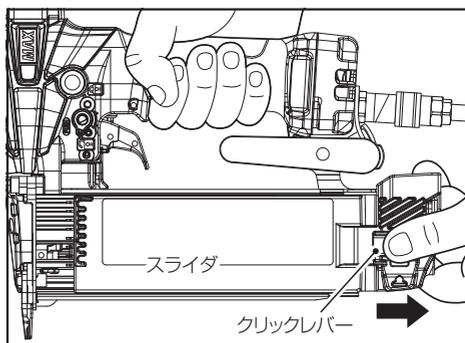
ネイルの装填方法

警告

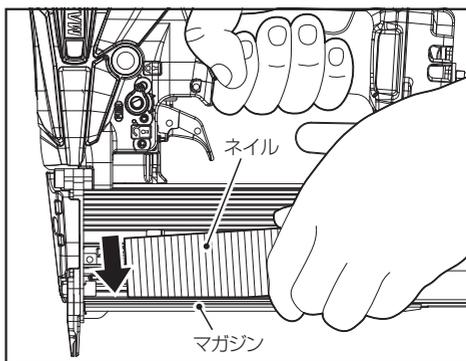
- ネイルを装填する時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②クリックレバーを押しながら、スライダを止まるまで静かに引き出します。

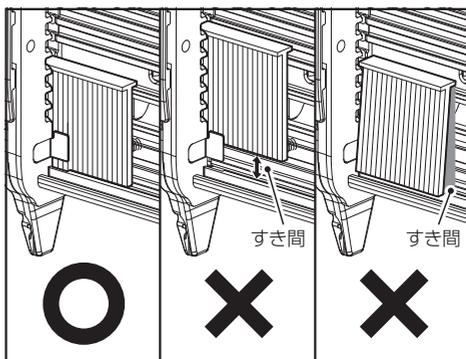


- ③ マガジン内にネイルを入れます。この時、ネイルの足先をマガジン下部の奥の溝に合わせるように装填してください。



⚠ 注意

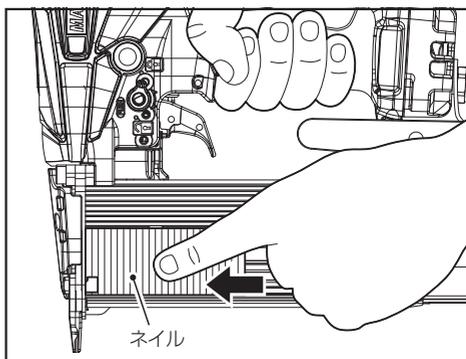
- ネイル足先にすき間があるままスライダをセットするとネイル詰まりや本機の故障の原因となります。
- 足長さの違うネイルを同時に装填しないでください。
- 本数の少ないネイルを一度に数連装填するとネイル詰まりの原因となります。



- ④ マガジン内のネイルを指で射出口内へ送り込みます。
- ⑤ スライダを静かに閉じます。

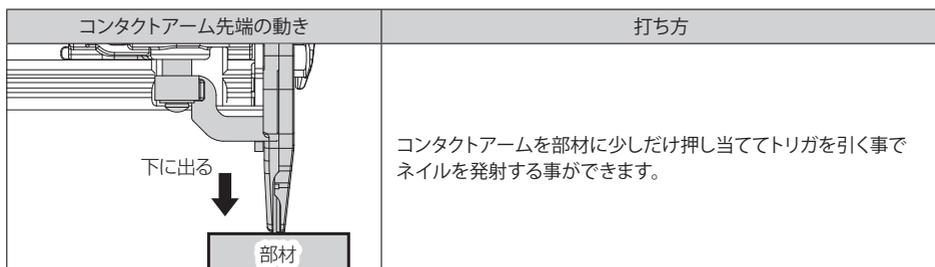
⚠ 注意

- 空打防止が作動した後の追加装填時にスライダを強く閉じると、ネイルの連結が重なり、ネイル詰まりや本機の故障の原因となります。スライダを閉じる時は静かに閉じてください。



警告

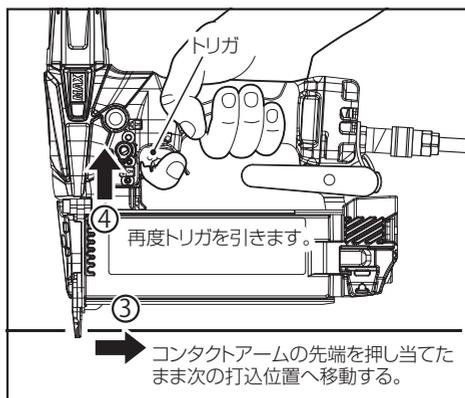
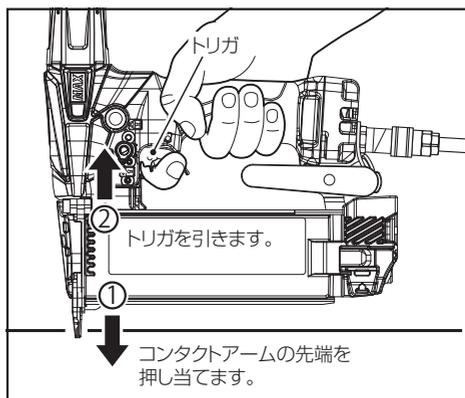
- 本機を 작동させる時は、指等でコンタクトアームを固定しない。



本機は、仕上がりと安全性を重視した単発打ち専用のメカニズムを装備しております。

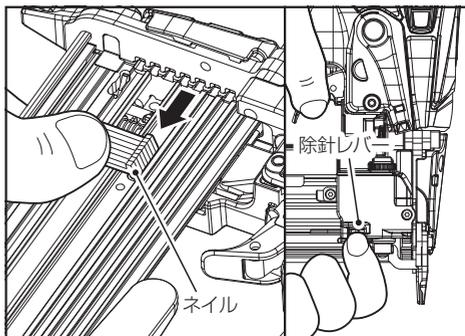
手順

- ①トリガロックをフリーの位置にセットしてください。
- ②ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当ててからトリガを引きます。
- ③トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなし、②の動作を繰り返し行ってください。
- ④コンタクトアームを押し付けたまま次の打ち込み位置へ移動して再度トリガを引いてもネイルを発射することができます。



●空打防止機構

本機は空打防止機構がついています。マガジン内にネイルが入っていない場合、及びネイル残量が約6本になった場合、トリガを引いても動作しません。ネイルを取り外す時は、トリガをロックし、エアホースをはずしてから除針レバーを押しながら取り除いて解除してください。



⚠ 注意

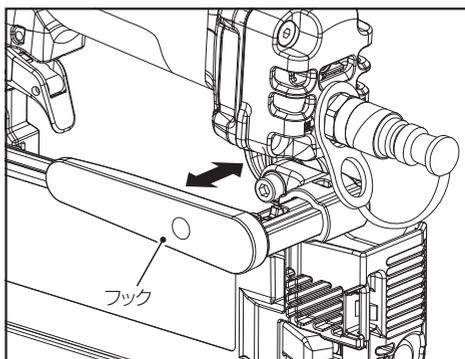
●除針レバーを押しながら打つと、ネイルが詰まったりし、故障の原因となりますので絶対にしないでください。

フックの方向の変え方

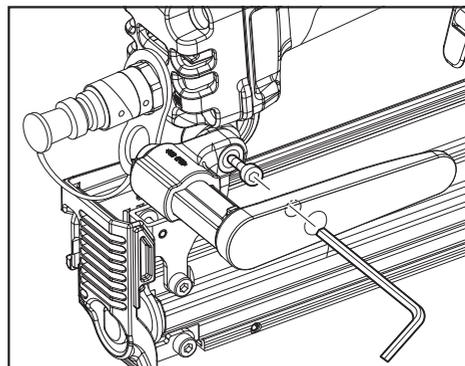
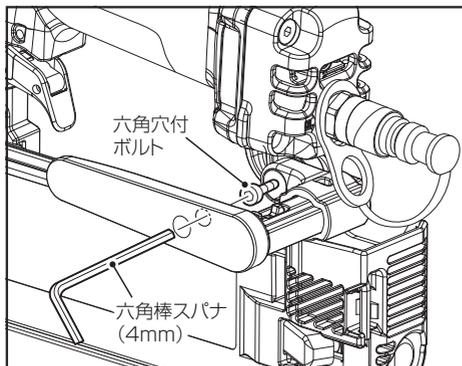
〈フック幅の変更〉

フックをスライドさせる事でフック幅を変えられる事ができます。

※キャリングケース収納時はフック幅を小さくした状態で収納してください。



フックは反対側に取り付けることができます。付け変えるときは、六角棒スパナでボルトをはずし、フックの取付け位置を変えてから、再び組込んでください。

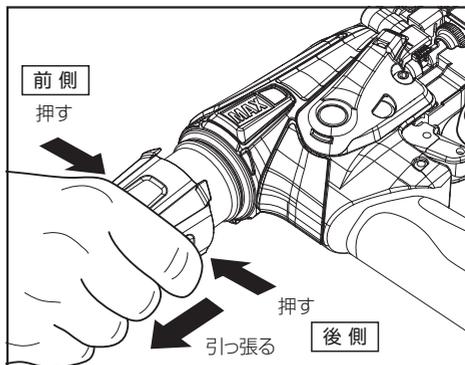


シリンダキャッププロテクタ交換方法

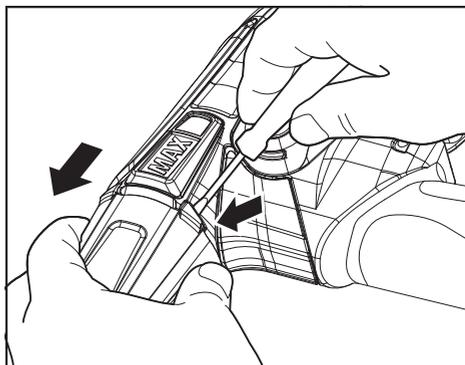
〈HA-55SF2 (D)〉

手順

- ①シリンダキャッププロテクタの前後をつかみ、押しながら本体上方向に引っ張ってください。



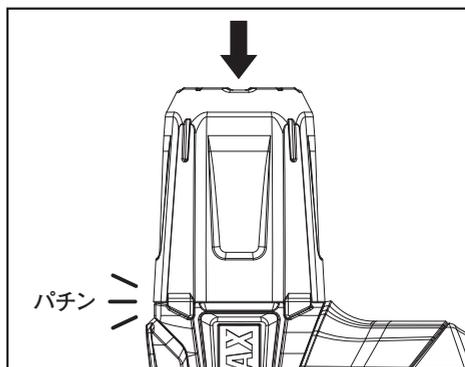
取れない場合は、図の位置にマイナスドライバを差し込み、シリンダキャッププロテクタを浮かせた状態で引っ張ってください。



⚠ 注意

- ボデーを傷付けない様、気を付けてください。

- ②新しいシリンダキャッププロテクタを、上からパチンと音がるまで取り付けてください。



〈TA-255SF2・TA-255SF2 (D)〉

手順

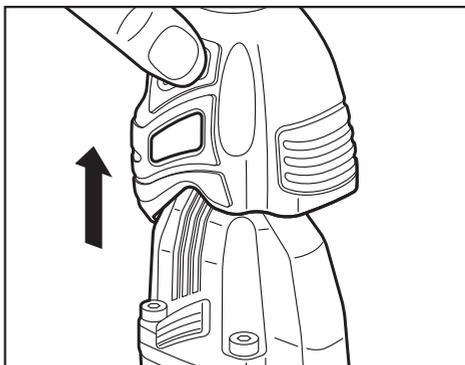
- ① シリンダキャッププロテクタに指を差し入れ、左右の固定ラバーから外します。



- ② 上方方向にシリンダキャッププロテクタを引っ張り取り外します。

⚠ 注意

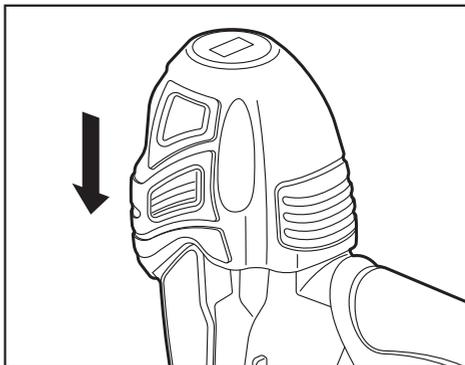
- 固定ラバーから外さずに無理に引張らないでください。固定ラバーがはがれてシリンダキャッププロテクタを固定できなくなります。



- ③ 新しいシリンダキャッププロテクタを押し込み、固定ラバーがしっかりはまっている事を確認してください。

⚠ 警告

- 固定ラバーがしっかり接着されている事を確認する。



シリンダキャッププロテクタをお求めの際には、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。

コンタクトトップの取付方法

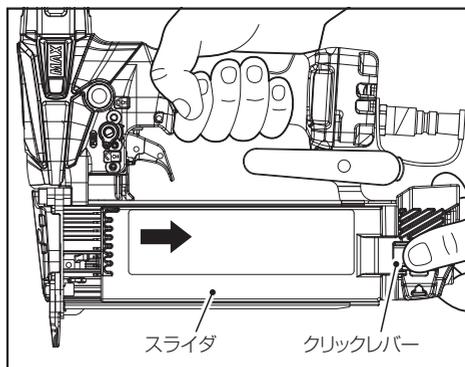
本機には部材の保護のためにコンタクトトップが装備されています。

⚠ 警告

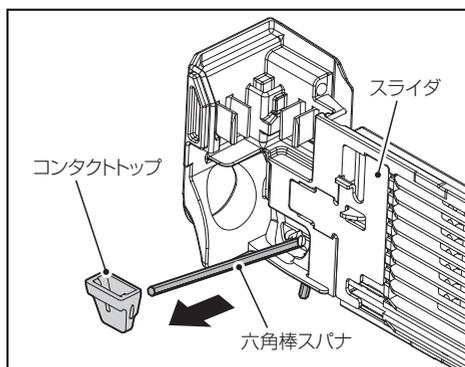
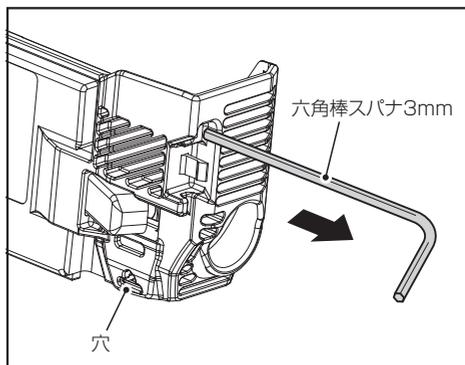
- コンタクトトップを交換する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずし、ネイルを取りのぞく。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②クリックレバーを押しながら、スライダを引き出します。
- ③ネイルをマガジン内より抜き取ります。

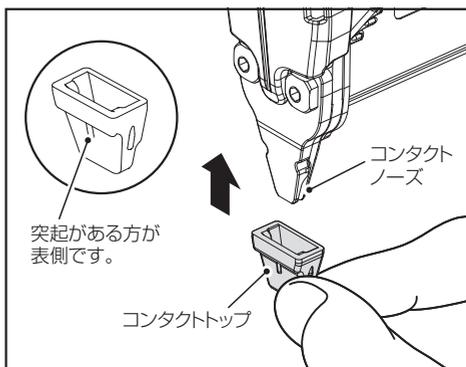


- ④コンタクトトップはスライダ後部に取り付けられています。
スライダに付いている六角棒スパナ
3mmでスライダ表側の穴から
コンタクトトップを押し取り外します。



- ⑤ **コンタクトトップ**を**コンタクトノーズ**先端に取り付けます。

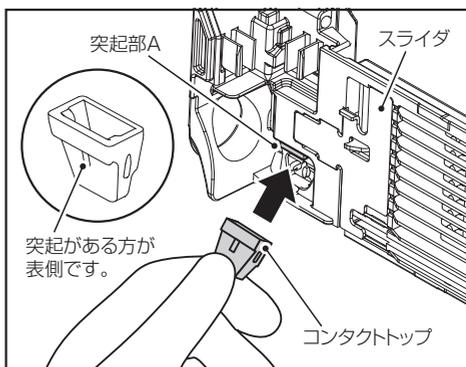
※**コンタクトトップ**には**向き**があります。
正しい方向で取り付けてください。



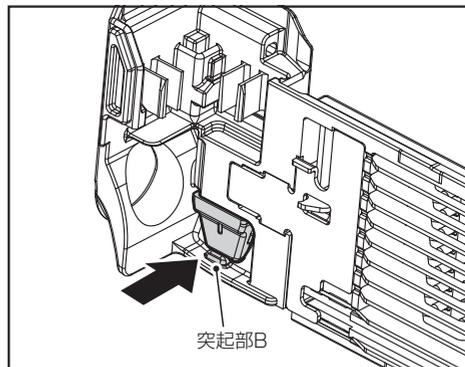
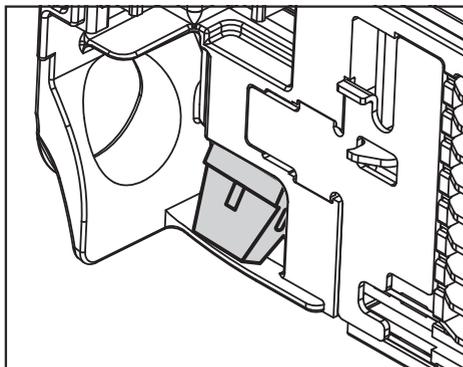
● **コンタクトトップ**収納方法

手順

- ① **コンタクトトップ**先端側を持ち、**スライダ**の**突起部A**に差し込みます。



- ② 斜めになっている**コンタクトトップ**下部を**突起部B**奥に押し込みます。



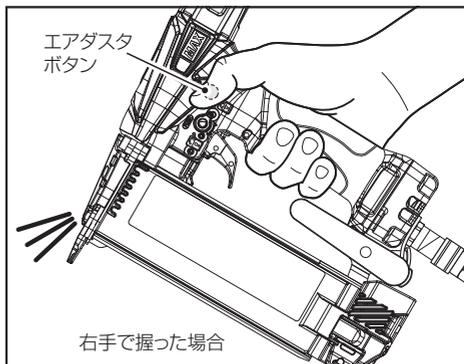
エアダスタの使用法〈HA-55SF2 (D)〉

⚠ 警告

- 射出口やエアダスタの吹き出し口を絶対に人体に向けない。
- エアダスタを使用する時は、必ずトリガをロックする。
- エアダスタボタンを押したままでエアホースをはずさない。

① トリガロックをロックの位置にセットしてください。

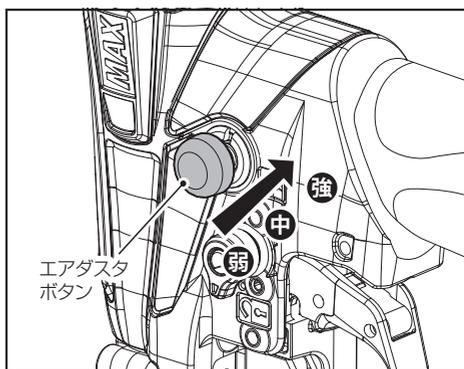
② エアを吹きたい所に吹き出し口を向けて、エアダスタボタンを押してください。



※ HA-55SF2 (D) のエアダスタには風量調整機能がついています。エアダスタボタンの押し加減でお好みの風量に調整して使用してください。

〈エアダスタの風量目安〉

エアダスタボタンの押し加減	風量
少し押す	弱い風量
中間まで押す	中間の風量
奥まで押す	強い風量



⚠ 注意

- ダスタボタンを横（側面）から押すと、エアが吹き出し口から少し漏れる場合がありますが、これは異常ではありません。
- エアダスタを長時間使用すると、一時的に打ち込み力が低下する場合があります。エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。
- 注油した直後にエアダスタを使用すると、オイルが吹き出し口より飛散する場合があります。10～30発程度実打してからエアダスタを使用してください。

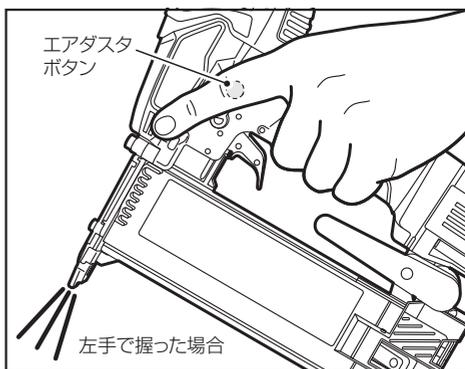
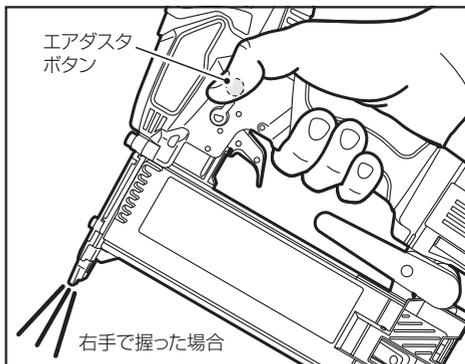
エアダスタの使用法〈TA-255SF2(D)〉

⚠ 警告

- 射出口やエアダスタの吹き出し口を絶対に人体に向けない。
- エアダスタを使用する時は、必ずトリガをロックする。
- エアダスタボタンを押したままでエアホースをはずさない。

① トリガロックをロックの位置にセットしてください。

② エアを吹きたい所に吹き出し口を向けて、エアダスタボタンを押してください。



⚠ 注意

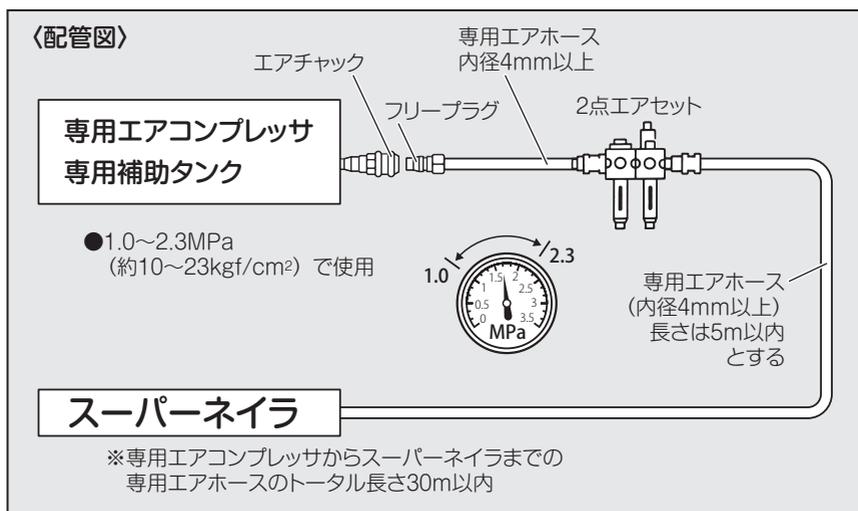
- エアダスタを長時間使用すると、一時的に打ち込み力が低下する場合があります。エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。
- 注油した直後にエアダスタを使用すると、オイルが吹き出し口より飛散する場合があります。10～30発程度実打してからエアダスタを使用してください。

配管についての注意

〈HA-55SF2(D)〉

警告

- 本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。本機は、使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必要です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。また、本機、専用エアコンプレッサ、専用エアホースとも、フリープラグ、エアチャックが専用のものとなっており市販の物とは互換性がないため、他の機器との接続はできない仕様となっております。改造・加工等して他の機器を使えるように絶対にしないでください。
- 動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。
- エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- 接続するエアホースもマックス専用エアホースを使用してください。専用エアホースは内径4mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径4mm以上、長さ5m以内で使用してください。



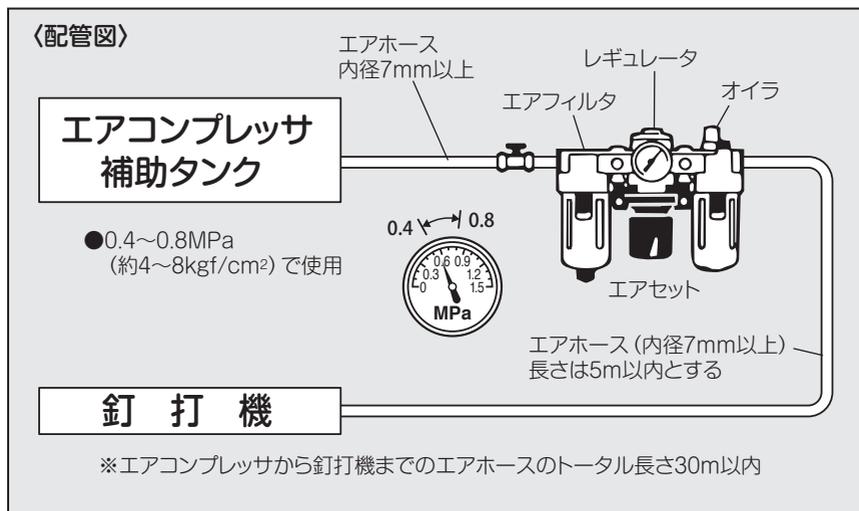
〈TA-255SF2・TA-255SF2 (D)〉



警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- 動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。
高圧ガス (例:酸素、アセチレン等) 等は絶対に使わないでください。
- エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。
エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。



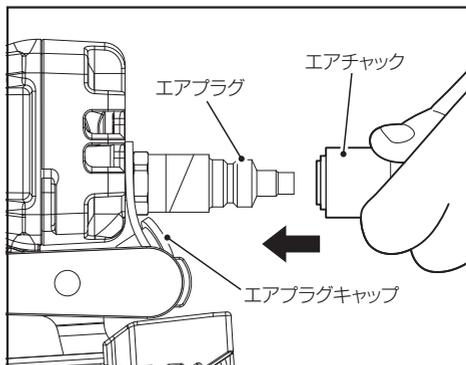
エアホースの接続

警告

- エアホース接続の時は必ず厳守する。
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。
- トリガをロック（引けないよう固定）する。
- トリガやエアダスタボタンに指をかけない。
- 射出口やエアダスタ吹き出し口に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
- 射出口やエアダスタ吹き出し口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- ③エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。



警告

- 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

アジャスタの調整と打込状態の確認

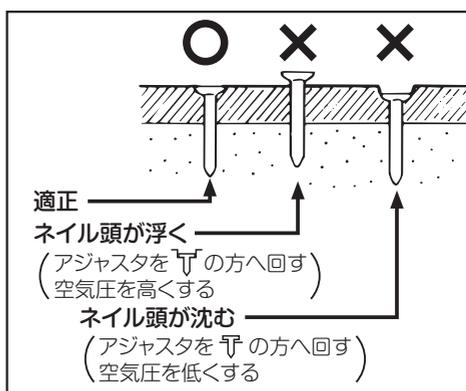
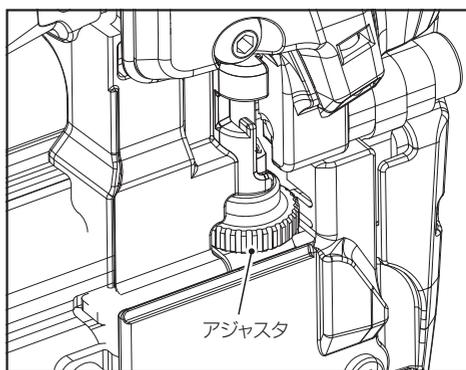
本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

警告

- 調整の時は必ずトリガをロックし、エアホースをははずす。
- HA-55SF2 (D) は2.3MPa (約23kgf/cm²)、TA-255SF2・TA-255SF2 (D) は0.8MPa (約8kgf/cm²) を超えた圧力では絶対に使用しない。
- 調節する時は射出口を下に向け、顔や手、足などの人体がないことを確認する。

手順

- 1 トリガをロックし、エアホースをははずします。
- 2 ネイルを装填します。
- 3 エアコンプレッサの圧力を
HA-55SF2 (D) は
1.5MPa (約15kgf/cm²)、
TA-255SF2・TA-255SF2 (D) は
0.6MPa (約6kgf/cm²)
にセットします。
- 4 本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをUNLOCK (アンロック) にセットします。
- 5 試し打ちをし、打込みたい深さを確認します。
- 6 アジャスタを回し調整します。
※アジャスタを1回転させると約1mm上下します。(右図参照)
- 7 適正状態が得られない場合は、エアコンプレッサの空気圧を調整してください。



※足長さの長いネイル (45・50・55mm) を使用する時や、硬い部材に打ち込む時は、空気圧を高め、

HA-55SF2 (D) :1.5~2.3MPa (約15~23kgf/cm²)

TA-255SF2・TA-255SF2 (D) :0.6.~0.8MPa (約6~8kgf/cm²)

に設定し、使用してください。

ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③スライダに収納してある六角棒スパナ3mmを引き抜きます。
- ④コンタクトノーズAをとめている六角穴付ボルト2本を外して、コンタクトノーズAを外します。
- ⑤詰まったネイルを取り除きます。

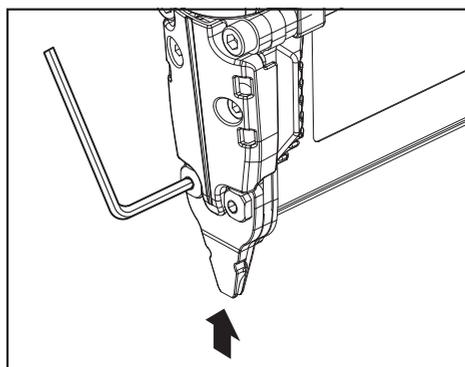
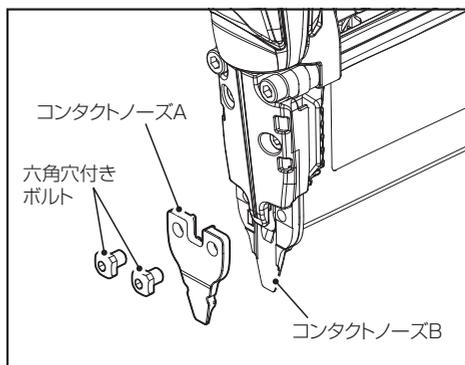
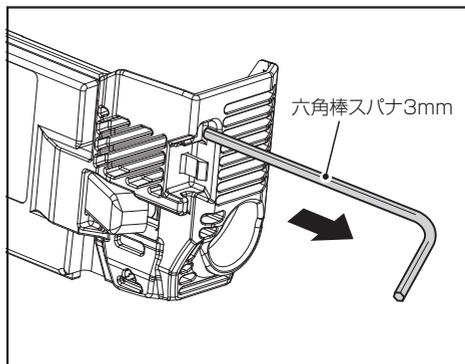
⚠ 注意

- コンタクトノーズA、コンタクトノーズBにフィニッシュネイルの破片が残っていないことを確認してください。

- ⑥コンタクトノーズAをドライバガイドカバーの下側に入れボルト穴位置を合わせ、六角穴付ボルトをしっかり締め付けてください。

⚠ 警告

- ネイルづまりを直した後は、P5 安全装置の点検を参照し、安全装置に異常がないか確認する。



保守・点検

本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



繰り返しカラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。
対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前にHA-55SF2 (D) はフリープラグの小穴からオイルがあふれる程度に、TA-25SF2 シリーズは、エアプラグの口から2～3滴、注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



エアプラグキャップ

エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

定期的に清掃する

本機の性能を維持するために清掃を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。

清掃方法

- ・砂やゴミがついたらエアダスタで飛ばしてください。
- ・トリガの裏もエアダスタで飛ばしてください。
- ・布できれいに拭いてください。

射出口(コンタクトノーズ)の点検

トリガをロックし、エアホースを外した状態で射出口(コンタクトノーズ)がスムーズに動くか確認してください。

射出口(コンタクトノーズ)の可動部は掃除し、ときどき付属の油を注油してください。油を注ぐことにより、スムーズに動作すると同時にさび止めにもなります。

ピストンリングの点検

ピストンリングは、消耗品です。ドライバがズルズルと落ちてきたら、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。

作業後の保管

※作業後はネイルを全部抜き取ってください。

※エアプラグにエアプラグキャップをさし込むときは、機体をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- ・作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、エアプラグキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。
- ・長期間使用しない場合は、さび防止のため、エアプラグから給油し、2,3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。
- ・鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。
- ・油は、付属の油をご使用ください。
- ・お子様の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

アフターサービスについて

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にご相談ください。
 - 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
 - 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。
- ※本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙	支店	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121
盛	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千	営業所	〒284-0001	千葉県四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400
群	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031
京	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖	営業所	〒901-2127	沖縄県浦添市屋富祖1-5-11	TEL (098) 875-3577
広	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
マックス販売株式会社	本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4101114
170818-00/03

便利メモ

お名前	商品名	HA-55SF2 (D)・TA-255SF2・TA-255SF2 (D)
お買い上げ日	製造番号	
年		
月		
日		
販売店名	☎	